

# 久美浜学園学校運営協議会だより

## 久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園学校運営協議会事務局(久美浜中学校内82-0079)R3.11.9 No.2

### 第2回学校運営協議会を開催しました。

第2回協議会を10月28日(木)に開催しました。午後7時から8時30分までの1時間半、熱心な話し合いをお世話になりました。

#### 全体会議



(協議会長あいさつ) コロナ禍で大きな制限を受けつつ、保育・教育活動を工夫と努力で持ちこたえ、最低限以上の活動を行っていただいている。体育祭を参観したが、中学生の整然とした動き、話や指示を真剣に聞ける姿に感動した。これも一貫教育の強みやよさかなと思いつつ見ていた。また、協議会委員の皆様の活動もコロナ禍にあっても、それぞれの立場で、見守り活動など原則的に行っていた。本日の第2回協議会では、事務局からの上半期の活動についての報告や提案を聞いていただき、情報共有し、協議会の活動の在り方や学校の応援団としての在り方などについてグループ別交流で深め、今後の活動に活かしていただきたい。



(学園長あいさつ) 上半期、コロナ禍で様々な制限がかかっていたが、withコロナへの工夫や対応、「学校の新しい生活様式」のもと、各校園所では様々な充実した保育・教育活動を展開してきた。一方、コロナ禍による生徒や家庭環境の不安定さによる不適応生徒の増加が課題となっている。学校外の環境変化、目標ややりがいの敗退により不安定になる生徒の増加は全国的な傾向でもある。今こそ、子育ての基盤である家庭教育を「昔ながら」の地域コミュニティで支える仕組みづくりが必要で、委員の方の知恵をお借りしたい。また、8月の学園研修会では、コロナ禍においても協議会を身近なものにしていくため、教職員が協議会やコミュニティスクールについて学ぶ機会を作り、協議会長にも講演していただいた。本日は、今後、更に久美浜学園が発展できるようなご意見やアイデアを出していただきたい。

#### グループ別協議

- ◆タブレットに関して、活用の仕方では気になることがある。何でも調べたいが、地域や祖父母の話とかは調べられない。人に話を聞くということは大事なことでないか。
- ◆6年生の子がタブレットを持って帰ってきた。音読の宿題をタブレットに向かってしていて、動画を提出するのだそうだ。今までは、親が聞いていたが、違和感がある。親が楽になると言えばそうだが、複雑な思いが残った。
- ◆人とのつながりが、機械の上でのやり取りになっている。感情の理解ができていないのか。地域の中での文化的行事などに子どもを参加させて、人とのつながりで地域文化を学んでいくことが大事。



- ◆「土曜お楽しみ会」は子どもの居場所づくり。ねらいは、家で体験できないことを大人と一緒にやってやりたいという思いでやってきた。地域で子どもを育てていきたいという思いは持ち続けたい。やめたわけではないが、復活させるのも難しい。「二区子ども広場」も「いつからやる？」という子どもの声が出ている。
- ◆PTAで保護者授業をやる。コロナ禍でもやれるようにやる。
- ◆娘のタブレットの使い方では気になる。キーボードの打ち方が自己流で、基本を教えてほしい。文字を書かないことも気になる。



- ◆あいさつ運動に参加して、子どもが伸び伸びしていると感じた。
- ◆ゲームのやり過ぎで、昼夜逆転している子どもの現状がある。
- ◆教育目標の「ふるさとを愛し…」は、小中学校で楽しい思い出があるとふるさとに帰ってきたくなると思う。
- ◆小中一貫教育ということで、小中継続して学力を伸ばしてほしい。保護者も協力していきたいと思う。
- ◆私の村は小学生が9人、来年は5人増える。見守り隊をしていて、先生から様子が聞けてうれしい。横の連携をしっかりとりたい。



# 閉会挨拶



(副学園長) 交流をしていくと時間があっという間に過ぎた。皆さんがいろいろな思いを持たれていることが分かり、聞いていて心強くなった。もう少し時間があってもよかった。地域の方がどれだけ子どもや学校のことを思っておられるか、今後、先生たちにも伝えていきたい。

(副協議会長) 運動会や敬老会など、地域での行事が2年間でできていない。コロナ禍で活動が制限されて、だんだん地域力が弱まってくると思うことがある。コロナの収束もなかなかだが、地域活動をうまくつくりながら、盛り上げながら、今後も地域の活動に携わっていきたい。

いつもの部会のメンバーでなく、ランダムに3つのグループに分け協議をしていただきました。学校や学園の取組について率直な意見を出していただきました。コロナのことだけではなく、今の子どもの現状は厳しく、社会総がかりで対応していかないといけないことが多くあります。地域コミュニティが支える子どもの生活、学びが確かにあることを、協議の中で感じます。今後も、地域の方の子どもを支える取組を取材し、広報させていただきたいと思えます。

## 地域とかかわって「学ぶ」、子どもを支える地域の活動を紹介

久美っ子見守り隊の方をお願いしたマラソン大会交通整理



久美浜湾での牡蠣棚の学習 (かぶと山小)



永留交差点の見守り



葛野から付き添い登校

稲刈り体験、地域の田んぼで実施 (こうりゅう虹保育園)



地域の田んぼで泥んこ体験 (かぶと山こども園)



栢谷から付き添い登校

久美浜一区の方にお世話になり「水源の森」の学習 (小4)



畑の先生に教えてもらいサツマイモ植え (久美浜保育所)

コロナ禍でなかなか地域学習ができない中、感染予防を徹底しながら、少しずつ校外学習を進めています。地域の方にお願ひしいないとできない学習や体験ばかりです。見守り活動は地道に続けていただいています。